

平成25年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、「元気発進！北九州」プランに掲げる“人づくり”を具体化するための部門別計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」及び「北九州市生涯学習推進計画」を着実に推進しています。

子どもの教育の分野では、教育プランに掲げる基本方針「教育日本一を実感できる環境づくり」の下で、引き続き「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、「子どもの教育」への市民参画を進めていきます。

また、生涯学習の分野では、生涯学習推進計画に掲げる「市民が学び、つどい、輝くまち、北九州市をめざして」を目標に、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図ります。

さらに、いじめ防止や防災意識の向上に向けた取組みに加え、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げられた小中一貫・連携教育の推進や経済界との連携による学校支援など、子どもたちがいきいきと学習や活動ができるよう必要な取組みを進めます。

なお、教育プランの当初5年間の計画が平成25年度に終了することから、平成26年度からの5年間で取り組むべき事業等を追加・拡充した後期事業計画を作成することとしています。

子どもの教育に関する分野

- 1 いじめ対策の充実
- 2 英語・外国語活動の充実
- 3 北九州市立高校の部活動の充実
- 4 東部地域における特別支援学校の整備
- 5 小中一貫・連携教育の推進
- 6 学校施設の防災機能の強化
- 7 (仮称)学研地区小学校新設事業
- 8 普通教室等扇風機設置事業
- 9 家庭・地域と連携した学校支援と学習習慣づくり
- 10 経済界との連携による学校支援モデル事業
- 11 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」後期事業計画作成業務

生涯学習に関する分野

- 12 市立図書館の整備
- 13 (仮称)市民みらい創造プラザ事業等

教育委員会総務部企画課

: 582 - 2357

担当(久保山・遠近)

個別の事業の内容については、各担当課へ
お尋ねください。(P11参照)

子どもの教育に関する分野

1 いじめ対策の充実 [430,520 千円]

教育委員会の取組みや対応について検証・協議等を行う第三者委員会の設置や、小中連携市費講師の新規配置、スクールソーシャルワーカー（注1）やスクールカウンセラー（注2）の拡充を行うとともに、道徳教育・伝統文化体験活動の充実など、いじめ等の児童生徒の問題行動への対応を強化するための事業を実施する。

（注1）スクールソーシャルワーカー

社会福祉士、精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為、児童虐待など、問題を抱える児童生徒が置かれた複雑な家庭環境に働きかけたり、関係機関との連携の強化を図る職員。

（注2）スクールカウンセラー

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する臨床心理士などの「心の専門家」。全中学校に配置、全小学校に派遣。

【事業内容】別紙参照（P7、P8）

2 英語・外国語活動の充実 [381,482 千円]（他に債務負担280,000千円）

英語・外国語活動の指導を充実させるため、全小中学校にALT（外国語指導助手）を配置し、英語を使ったコミュニケーション活動を推進する。

また、小学生に「夏の教室」を活用した「英語活動体験プログラム」を実施し、英語に対する興味・関心・学習意欲の向上を図るとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

さらに、姉妹都市25周年を記念して、中学生を韓国仁川市英語村へ派遣し、外国語能力やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、自国の伝統・文化についての理解を深め、異国の伝統・文化を尊重する態度を育成する。

【事業内容】

小学校外国語活動補助事業【190,992千円】（他に債務負担190,000千円）

中学校・高等学校外国語指導助手配置事業【167,490千円】（他に債務負担90,000千円）

小学生を対象に「夏の教室」を活用した外国語指導の実施【13,000千円】

新規 【姉妹都市25周年】韓国仁川市英語村への中学生派遣事業【10,000千円】

3 北九州市立高校の部活動の充実 [91,337 千円] (他に債務負担 46,000 千円)

市立高校の部活動の振興を図るため、外部講師による指導強化、遠征合宿費の補助等を行うとともに、ダンス部などの部活動に活用できる多目的施設を新設する。

これにより、全国大会出場等による市立高校及び本市のイメージ向上を通じて、市立高校や地域の活性化を図る。

【事業内容】

新規 部活動振興事業（高等学校）の充実【38,000 千円】

- ・外部講師による指導強化
- ・遠征・合宿費の補助
- ・設備整備、部活動用品整備 など

新規 市立高等学校多目的施設整備事業【44,000 千円】(他に債務負担 46,000 千円)

市立高校部活動支援事業【9,337 千円】

4 東部地域における特別支援学校の整備 [280,000 千円]

知的障害と病弱（心身症等）を対象とする特別支援学校を旧門司商業高校跡地に新設（平成 28 年 4 月開校予定）するため、設計等を行う。

【事業内容】

基本設計・実施設計

既存建物の解体工事 など

5 小中一貫・連携教育の推進 [201,868 千円] 一部再掲 (198,200 千円)

義務教育 9 年間を通じた連続性・系統性のある学習指導・生徒指導を行うため、指導資料の充実や小中連携市費講師の新規配置、小中一貫・連携教育推進会議の設置などを行い、平成 25 年度から全市的に小中一貫・連携教育を推進する。

【事業内容】別紙参照（P9、P10）

6 学校施設の防災機能の強化 [2,305,000 千円] (他に債務負担 566,000 千円)

学校施設に必要な耐震性能を確保するため、耐震補強工事(計 38 校)を順次実施する。

また、学校施設の防災機能の向上を図るため、「吊り天井」構造になっている体育館等の改修工事を実施するとともに、避難所に指定されている学校において、災害時に高齢者等が安全・安心に避難できる体育館の整備を行う。

【事業内容】

耐震補強事業【2,130,000 千円】(他に債務負担 566,000 千円)

補強工事：38校(小学校22校、中学校15校、高等学校1校)

吊り天井(非構造部材)改修事業【52,000 千円】

改修工事：6校(小学校3校、中学校3校)

学校体育館防災機能強化推進事業【123,000 千円】

整備：10校(小学校7校、中学校3校)

- ・トイレ・更衣室等の改修
- ・スロープの設置 等

7 新(仮称)学研地区小学校新設事業 [11,000 千円]

北九州学術研究都市整備事業の進捗による児童数の増加に対応するため、学研地区に小学校を新設するための基本計画を策定する。

8 新 普通教室等扇風機設置事業 [63,000 千円]

教室における夏季の暑さ対策の一環として、普通教室等に扇風機を順次設置する。

【事業内容】

中学校1、2年生の普通教室等に設置(486教室)

9 家庭・地域と連携した学校支援と学習習慣づくり [26,800 千円]

家庭での学習内容、学習方法に関するアドバイスやノートの実例などを盛り込んだ「(仮称)家庭学習チャレンジハンドブック」を全児童生徒に作成・配布するとともに、放課後等において、地域、大学生等の協力を得ながら、子どもたちに学習支援を行うアフタースクール事業を実施するなど、学校と家庭・地域が一体となって学習習慣の定着化を図り、主体的に学ぶ子どもを育成する。

また、学校支援地域本部を設置し、地域の協力のもと学校の教育活動を支援する体制づくりを進める。

【事業内容】

新規 家庭学習パワーアップ推進事業【10,000 千円】

学習支援型アフタースクール事業～学習支援特化型学校支援地域本部事業～【6,000 千円】

実施校数：7校 10校（予定）

学校支援地域本部事業【10,800 千円】

実施校数：14校 18校（予定）

10 経済界との連携による学校支援モデル事業 [5,000 千円]

経済界と連携することで、企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修への講師派遣などに有効活用する。平成25年度は、モデル校を小学校11校から15校（予定）へ拡大して取り組む。

【事業内容】

児童に対する出前授業、体験学習支援

PTA人材確保・活動支援、親学支援 など

11 新「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」後期事業計画作成業務[1,600 千円]

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の当初の5年間の計画が平成25年度に終了することから、平成26年度からの5年間で取り組むべき事業等を追加・拡充した後期事業計画（平成26年度～平成30年度）を作成する。

生涯学習に関する分野

12 市立図書館の整備 [79,000 千円]

小倉南区の地区図書館整備に向けて、整備推進に必要な基本計画を策定する。

また、旧戸畑区役所庁舎を戸畑図書館として再整備し、平成25年度内のオープンを目指す。

【事業内容】

小倉南区図書館整備推進事業【5,000 千円】

旧戸畑区役所庁舎図書館活用事業【74,000 千円】

13 新（仮称）市民みらい創造プラザ事業等 [21,600 千円]

人づくり支援を目指して、コムシティ内8施設の協働により「（仮称）市民みらい創造プロジェクト」を実施する。

また、複合施設の顔となるインフォメーションを設置し、市民と各施設を繋ぐ役割を担うことで、市民間の交流を支援する。

さらに、市民の多様で高度な学習ニーズに対応するため、八幡西生涯学習総合センターにおいて、幅広い分野における専門的な学習機会を提供するとともに、様々な地域活動を実践できる人材を育成する。

【事業内容】

（仮称）市民みらい創造プラザ事業【18,900 千円】

八幡西生涯学習総合センター事業【2,700 千円】

いじめ対策の充実について

【 いじめ問題に対する認識 】

いじめは、「人間として絶対に許されない」「どの学校でも、どの子にも起こりうる」
いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努め、いじめが解消するまで継続した対応を行う
社会全体でいじめ問題に取り組む

今後の取組(案)

児童生徒への対応・指導

いじめ撲滅月間の設定

・期間を定め全校一斉にいじめ防止の取組を実施

アンケート調査および面談の充実

・定期的な実施に加え、年一回全校一斉に実施

「いじめ防止フォーラム」の充実

・児童生徒等の参加者を増やすなどいじめ問題の啓発の強化

市費講師の配置

・小中連携の推進等によるいじめ問題への対応の充実

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの充実

・児童生徒へのカウンセリングや家庭等の環境への働きかけ等による問題の解決

思いやりの心や公正・公平な心の育成

・道徳の授業を通じた生命を尊重する心や思いやりの心の育成、健全な自尊感情の育成

望ましい人間関係の形成及びストレスへの対処等に関するプログラムの実施

・望ましい人間関係の形成とコミュニケーション能力向上に関する技能の育成

いじめ問題に対する児童生徒の自発的な活動の充実

・児童会生徒会活動など、いじめ問題への児童生徒の自発的な活動の充実(リボンメッセージ等)

学校の対応力向上、支援

校内いじめ問題対策委員会の設置

・組織におけるいじめに関する情報の共有・共通理解を促進し対応を強化

「いじめ問題を見過ごさないために」の改訂・配布

・いじめ問題の考え方、取組、校内体制など対応の手引書を改訂し配布

少年サポートチームの取組の強化

・非行や暴力への対応とともに、いじめ対応について指導・助言

管理職や生徒指導主事・主任への研修会の実施

・いじめ実態調査の結果について研修を行い、今後のいじめ対応に生かす

ネットトラブル等防止のための取組

・ネットにおける児童生徒の不適切な書込等の把握と問題の早期対応

教育委員会の学校支援ライン、学校支援チームによる支援の強化

・日常的な学校訪問による指導・助言、苦情・緊急対応、連携強化

関係機関との連携強化

第三者委員会の常設

・いじめ問題等に関する学校や教育委員会の取組、緊急事案発生時の対応等について助言・点検等を行い、取組の充実、適切な対応を図る

保護者、地域等へのいじめ問題の啓発

・いじめ問題啓発リーフレットやいじめ撲滅ポスターの作成・配布等による、保護者や地域等に対するいじめ問題への意識の高揚

各部局、関係機関との連携強化

・行政各部局や関係機関との連携強化による、いじめ問題への対応の充実

北九州少年サポートセンターへの指導主事の派遣

・県警との協同活動による、連携強化と問題への対応力向上

北九州市学校警察連絡協議会の推進

・児童生徒の健全育成、問題解決等市内各警察署と学校、教育委員会が連携

いじめ対策関連事業一覧

	事業名	事業概要	H24 予算額	H25 要求額	前年度比 増減
1	新 いじめ対策の充実	(1) 第三者委員会の設置 いじめ等諸問題に関する教育委員会の取組や、緊急事案発生時の対応について検証・協議等を行う。 (2) いじめ防止フォーラムの拡充 教育セミナーのなかで実施している「いじめ防止フォーラム」について、参加児童生徒数を増員する。 (3) 関連資料の改訂 「いじめ問題を見過ごさないために」(平成19年作成)の改訂。 (4) いじめ問題啓発事業 地域・家庭向け啓発資料(リーフレット、ポスター)の作成。		3,000	3,000
	指導行政費(中学校) セミナーに係る経費のみ抜粋	「子どもの未来をひらく教育セミナー」の開催 環境、いじめ、特別支援教育等、各テーマにおいて講演、フォーラム等を実施。	944	953	9
	小 計		944	3,953	3,009
2	新 心の教育推進事業(拡充)	(1) 北九州道徳教育推進事業 心に響く道徳教育推進事業(国委託事業) 道徳教育推進指定校の拡充(小学校4校、中学校1校) フォーラムの開催、教員用資料(DVD)の作成 (2) 伝統文化体験事業 伝統文化体験事業指定校の拡充(小学校10校)		5,518	5,518
	心の教育推進事業	(1) 北九州道徳教育推進事業 道徳教育推進指定校(小学校3校、中学校2校) (2) 伝統文化体験事業 伝統文化体験事業指定校(小学校10校) (3) 豊かな心をはぐくむ体験活動推進事業 幼稚園等における体験活動を通じて心の教育を推進	6,773	7,475	702
	小 計		6,773	12,993	6,220
3	新 スクールカウンセラーの充実	スクールカウンセラーの配置拡充 10中学校区×4時間		7,000	7,000
	スクールカウンセラーの配置	スクールカウンセラーの配置 全中学校区(62)×12時間	136,044	132,519	3,525
	小 計		136,044	139,519	3,475

	事業名	事業概要	H24 予算額	H25 要求額	前年度比 増減
4	スクールソーシャルワーカー活用事業の充実	スクールソーシャルワーカーの配置 24年度:6名配置 25年度:7名配置	28,000	33,000	5,000
5	新 小中連携によるいじめ・非行等対策のための市費講師配置事業	市費講師の配置 全中学校区に1名配置。 小中連携の推進等によるいじめ問題への対応の充実。		198,200	198,200
6	少年サポートチーム推進事業	少年サポートチームの設置 教員OBと警察OBで組織。 学校、教育委員会、警察等の関係機関による相互の行動連携を強化し、問題行動の未然防止や早期解決に取り組む。	29,734	26,955	2,779
7	ネットトラブル等防止及び啓発・研修事業	(1) 学校非公式サイトの実態把握と監視 (2) ネットトラブルに対する学校へのサポート (3) 研修の実施(教職員の対応力向上)	17,363	15,000	2,363
8	補導対策事業補助	補導対策事業補助金 「北九州市学校警察連絡協議会」への補助金交付。	900	900	0
	教育中計		219,758	430,520	210,762

【他局分】

	事業名	事業概要	H24 予算額	H25 要求額	前年度比 増減
子家	新 「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部事業」運営事業	(1) 「非行防止」対策 (2) 非行からの「立ち直り支援」 (3) 「脱法ハーブ」を含む薬物等乱用防止と啓発 (4) 地域団体・関係機関との連携強化		42,000	42,000
	24時間子ども相談ホットライン事業	24時間365日体制の電話相談窓口を開設	13,962	13,885	77
	「非行少年の立ち直り支援と体制強化事業」 少年支援室運営費	非行児童を専門に対応する体制を整備し、児童及び保護者に対して専門的な立場から指導・援助を行う 少年支援室運営費	1,006	654	352
市文	ガーディアン・エンジェルズセイフティ・センター運営支援事業	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開しているNPO法人「日本ガーディアン・エンジェルズ」の活動を支援することにより、青少年の健全育成を図る。	1,800	1,800	0
保福	薬物乱用防止関連事業	(1) 「(仮称)違法ドラッグ情報受付窓口」の設置 (2) 薬物乱用防止啓発事業 (3) 薬物乱用対策事業	4,271	3,818	453
	他局中計		33,539	73,661	40,122

総 計 504,181
(H24から250,884増)

小中一貫・連携教育の実施

～平成25年度スタート / 学校教育の充実に向けて～

本市では、平成25年1月に「北九州市小中一貫・連携教育基本方針」を策定しました。今後は、当該方針の下、義務教育9年間の学校教育の一層の充実を図り、児童生徒の学力・体力の向上、いじめ・不登校を防止することなどを目的として、平成25年度より、市内全ての小中学校（小学校131校、中学校62校）で、小中一貫・連携教育を実施します。

「北九州市小中一貫・連携教育」とは

「小中一貫・連携教育」を次のように定義し、現在の小中学校の施設（いわゆる分離型）の下で、小中学校の連携による学校教育の充実を目指します。

【「北九州市小中一貫・連携教育」の定義】

小中学校が、義務教育9年間の教育課程や教育活動を一体的に捉え、学力向上、体力向上、中1ギャップの解消など中学校区の状況を踏まえた教育目標を設定し、一貫した考えを共有しながら連携すること。

【目的】

小中学校の連携により、中学校進学時の子どもつまずきを軽減（いわゆる中1ギャップの解消）

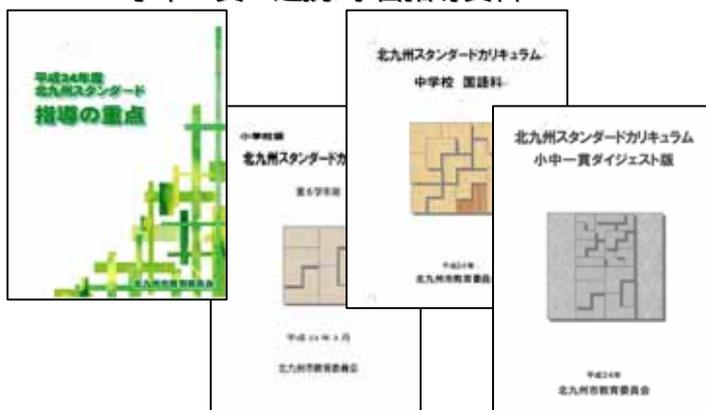
小学校、中学校、それぞれの学校の取組だけでは解決が困難な学習指導、生徒指導上の課題等を、小中学校のチームで解決（学力・体力の向上、思いやりの心をもつ自立した子どもの育成）

「北九州市小中一貫・連携教育」の主な内容

小中9年間を通じた学習指導・生徒指導

小中学校の参考となる本市独自の「小中一貫・連携/学習指導資料」「小中一貫・連携/生徒指導資料」を配布し、小中9年間を通じて連続性・系統性のある学習指導や生徒指導を推進します。

<小中一貫・連携/学習指導資料>



<小中一貫・連携/生徒指導資料>



紙面の関係上、一部のみ掲載しています。
裏面もあります。

中学校区ごとの課題に応じた創意工夫ある取組

小中学校の参考となる**本市独自の「モデル事例100選！」**を配布し、中学校区ごとに、児童生徒や地域の課題・状況に応じた創意工夫ある取組を進めます。なお、本市では、「できることから取り組む」こととし、次のように段階的に、小中一貫・連携教育の推進を図ってまいります。



平成25年度小中一貫・連携教育推進予算(案)【201,868千円】

小中一貫・連携教育推進サポーター(市費講師)の配置(全62中学校区)【198,200千円】

全62中学校区に小中一貫・連携教育推進サポーター(市費講師)を配置し、小中一貫・連携教育の実施体制の充実を図ります。

小中一貫・連携教育/学校予算の支援【2,568千円】

先進的な取組を提案する中学校区(15中学校区程度)に必要な予算を支援します。

小中一貫・連携教育推進事業【1,100千円】

小中一貫・連携教育推進会議を設置し、小中一貫・連携教育の推進状況を把握し、各中学校区に必要な支援を行います。

お問い合わせ先

教育委員会指導部指導企画課(093-582-2367)
 指導企画課長 横田 ・ 事業推進担当係長 奥村

教育委員会主要施策に関するお問い合わせ先

	主要施策（事業）名	主担当課	
1	いじめ対策の充実	指導第二課（582-2367）	
2	英語・外国語活動の充実	指導第一課（582-2367）	
3	北九州市立高校の部活動の充実	指導企画課（582-2367）	
4	東部地域における特別支援学校の整備	企画課（582-2357）	
5	小中一貫・連携教育の推進	指導企画課（582-2367）	
6	学校施設の防災機能の強化	施設課（582-2361）	
7	（仮称）学研地区小学校新設事業	企画課（582-2357）	
8	普通教室等扇風機設置事業	施設課（582-2361）	
9	家庭・地域と連携した 学校支援と学習習慣 づくり	家庭学習パワーアップ推進事業 アフタースクール事業 学校支援地域本部事業	指導第一課（582-2367） 生涯学習課（582-2385）
10	経済界との連携による学校支援モデル事業	生涯学習課（582-2385）	
11	「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」 後期事業計画作成業務	企画課（582-2357）	
12	市立図書館の整備	生涯学習課（582-2385）	
13	（仮称）市民みらい創造プラザ事業等	生涯学習課（582-2385）	